

自然学習講座

テーマ：水元公園の秋の草花を観察しよう！

日時：令和6年9月1日(日)
13時から15時まで(雨天決行)

講師：川井 希美 氏 (365日野草生活 のん)

参加費：無料 定員：30人

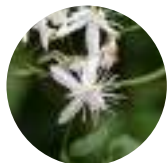
受付開始：令和6年7月22日(月)

※ 電話受付は令和6年7月23日(火)から。

集合：水元かわせみの里 水辺のふれあいルーム

受付：令和6年7月31日(水)まで電話で受付し、応募者より抽選。

※ 野外観察もありますので、動きやすく、汚れてもよい長袖長ズボン、歩きやすい運動靴などでお越しください。
※ 小学生3年生以下は保護者同伴。



センニンソウ

草花の観察を通して、秋の自然を体験するとともに、身近な自然の楽しみ方について案内します。

イベント・ガイドウォーク

第10回 かわせみフェスティバル 9月29日(日)
10時~15時

生きもの観察会やクラフト体験、カワセミが生息する他の公園の紹介や地元の施設によるポスター展示等を行います。会場は水元かわせみの里。



ガイドウォーク 1回目 11時から30分間
2回目 13時30分から30分間

専門員が水元かわせみの里周辺を解説しながらご案内します。
ボランティア活動日には、ボランティアさんが野草園を案内します。



水元かわせみの里とは (水元小合溜水質浄化センター)

水元小合溜の水辺環境を、豊かな生きものが生息していた昭和30年代前半の頃のように戻すために作られた、水質を浄化する施設です。施設内にある水辺のふれあいルームでは、専門員による解説や講座、様々な展示やイベントなどを通して、周辺の自然や歴史、水質浄化の取り組みなどについて楽しく学ぶことができます。



■ 開館時間・・・9時から17時30分(4月から10月)、9時から16時30分(11月から3月)

■ 休館日・・・月曜(祝日の場合は、その直後の平日)

■ お問い合わせ・・・水元かわせみの里 03(3627)5201 東京都葛飾区水元公園8番3号

■ 交通 京成バス バス停の場所は、5ページの地図をご覧ください。	水元公園循環バス(3月から11月の土日祝のみ)	金町駅南口←→戸ヶ崎操車場・八潮駅南口 (金61系統)
	金町駅南口→水元公園→金町駅南口	
	水元かわせみの里下車 徒歩1分	水元五丁目 または 大場川下車 徒歩5分

※ お車で越しの際は、水元公園有料駐車場をご利用ください。



葛飾区公式HP



ブログ



Facebook



X (旧Twitter)

水元かわせみの里

水辺のふれあいルーム通信

令和6年 7月20日
(通算第208号)



水元小合溜の生きもの：198

タマガムシ

コウチュウ目ガムシ科

全長 3.4~3.7mm

時期 4~10月頃

逆さまになってすいすい泳ぐ

タマガムシは生涯を水の中で過ごす水生昆虫で、ガムシの仲間としては珍しく、非常に泳ぎが巧みです。

逆さまになり、6本肢の真ん中の肢を使って器用にすいすいと泳ぎます。

▼タマガムシ腹面

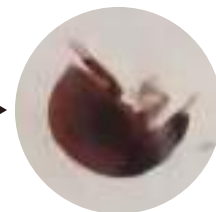


▲タマガムシ背面



真ん中の肢をシカクシカクと動かして泳ぐ。

遊泳の様子▶



実は希少種。

減りつつある水生昆虫。

タマガムシは、東京都のレッドリストで絶滅危惧ⅠA類に指定されている珍しい昆虫です。水生昆虫は護岸工事やアザリ

カザリガニなどの外来生物の影響で全国的に数を減らしており、タマガムシもいまや、都内では水元公園の他では皇居でしか見られないようです。



お腹に空気の膜をはって呼吸する。空気の膜は光を反射するため、きらきらと光る。

発見!お散歩隊がゆく

日々変わりゆく小合溜の自然を、お散歩隊が見つけて紹介します!



1 **7/7サルスベリ** 水元かわせみの里ふれあいルームからも見られる。「百日紅」とも呼ばれ、花は3カ月ほど見られる。



2 **7/7カワウ** 羽繕いをしてから、翼を大きく広げて体全体を乾かしている様子が水元かわせみの里でよく見られる。



3 **7/7オカダンゴムシ** 湿り気のある木の割れ目や土の上で集団になり、生きもの死骸を食べていた。



4 **7/7カナブン** 水元かわせみの里近くのクヌギの木で見られた。頭をうずめて樹液を食べていた。



5 **7/7アルリタテハ** 木にとまって翅を開いて閉じて繰り返していた。翅の表面は青く、裏面の模様は樹皮によく似る。



6 **7/7クロイトトンボ** 日が当たる葉の上に止まっていた。暑さをしのぐためか、腹部を上げていた。



7 **7/7シロテンハナムグリ** 羽音をたてながら木に飛んできた。樹液を求めて移動していたのかもしれない。



8 **7/7クサカゲロウの中間の幼虫** 肉食でアブラムシなどを捕えて食べる。木くずや葉片を背負って擬態していた。



9 **7/7キマダラカメムシ** 身近で見られるカメムシで最大級。頭の近くを飛ばれると、その翅音の大きさに驚く。

2 ● 写真を撮った場所を地図上に示してありますが、他の場所でも見られます。皆さんもぜひ見つけてみましょう。

専門員コラム 「昆虫たちの不思議な飛び方」の話

夏になると、クヌギやコナラなどの樹から樹液が出てきて、そこにカナブン(4)やシロテンハナムグリ(7)など、多くの昆虫たちが樹液を求めて飛んできます。

昆虫の翅は基本的に4枚あり、カブトムシなどの甲虫類では上の2枚が身を守る硬い鞘翅になっていて、飛ぶ際にはその鞘翅を広げて、中に収納していた2枚の下翅を羽ばたかせ飛ぶのが通常です。しかし、樹液に飛んでくるカナブンたちを見ていると、不思議なことに鞘翅を閉じたまま下翅を出して羽ばたかせています。

なぜ、カナブンたちは飛ぶ際に飛ぶのに鞘翅をしまっているのでしょうか?飛んでいる最中にも身を守るためでしょうか?理由は定かではありませんが、同じ甲虫類でも翅の使い方が違うというのは、不思議ながらも面白い差です。

そのように見ていくと、例えばチョウトンボは、他のトンボ類と比べてヒラヒラと羽ばたいて飛んでいます。外敵から本気で逃げる時は素早い動きを見せます。あの飛び方には、飛翔能力とはまた別の秘密が隠されているのかも知れません。

見慣れた生きものでも、その行動に注目すると、まだまだ不思議な部分は多いものです。皆さんもぜひ、いろんな仮説を立てながら、昆虫たちの不思議を観察してみてくださいね。(小林)



ボランティア活動報告

水元かわせみの里周辺の除草活動！

7月11日に水元かわせみの里周辺の除草活動を行いました。来園者の皆さまに水元かわせみの里を利用してもらいやすくするため、通り道となる環境を整備しました。水元かわせみの里は様々な生きものが見られるので、全ての植物を除草せず、調整しながら活動します。



水元かわせみの里のすぐ脇に通る石畳の通路の除草をしました。



通路がスッキリして歩きやすくなりました！



ハーブ園では、伸びすぎて園路にはみ出したハーブを除草しました。



全ては除草せず、観察できるハーブも残しつつ除草しました。

ボランティア募集

水元かわせみの里ボランティアは、活動を通して、ボランティアの方々が地域への愛着を育み、ひいては地域の発展へ貢献することを目標とします。地域の自然保護活動や、来館者へのクラフト教室など、やりがいをもって参加いただける活動がたくさんありますので、気軽にご参加いただきたいと思います。

■活動内容 水元かわせみの里周辺の美化活動や、水辺のふれあいルームの管理等補助作業
ガイドウォーク等の補助作業、ボランティア研修会の受講
葛飾区子どもまつり、環境・緑化フェアなどへの参加

■募集期間 随時募集しています

■対象 18歳以上の方(原則)

■活動日 月4回程度(定例活動日 第1、3土曜日、第2、4木曜日)

■申し込み・お問い合わせ 水元かわせみの里 03(3627)5201

学校等団体利用のご案内

水元かわせみの里には、水元小合溜の歴史や自然の解説を行う専門員がいます。総合的な学習の時間、理科、社会科、生活科などの学習にぜひご利用ください。

総合的な学習の時間



植物の葉っぱと種の観察

水元小合溜周辺の身近な生きものや、環境、歴史について楽しく学びます。水質浄化センターの見学なども可能です。

職場体験受け入れ



中学生職場体験

施設周辺の美化活動、施設内の管理作業、生物の調査、ガイドウォークの補助など、様々な体験が可能です。

自由研究の補助



虫とのキットを作る

水辺の生きもの調査、図鑑作りなど、様々な内容の自由研究のイベントを行い、夏休みの児童への、学習のサポートをします。

その他、主な団体利用の内容

- ・生物関係のクラブ活動の補助
- ・大学、専門学校の実習の受け入れ
- ・福祉系団体への自然解説
- ・歩こう会など、各種団体への自然解説

※バスでの来館のご希望や、ガイドの時間・内容などの詳細については、ご相談ください。

※団体利用に関するお問い合わせは、水元かわせみの里窓口、または電話(水元かわせみの里 03-3627-5201)まで。

野草園だより 見頃の生きもの 7月編

水元かわせみの里の裏手にある小さなビオトープ「野草園」。様々な生きものが暮らすこのビオトープで見られる、ステキな生きものをご紹介します。

7月の見頃

ショウリョウバッタ

夏から秋にかけてイネ科の植物を食べて成長する昆虫で、野草園で葉の上を探すとよく見られます。

7月上旬は全長2cmほどの幼虫で、翅がなく脚でジャンプしながら移動していますが、8月上旬のお盆を過ぎたころには立派な翅のついた成虫となり、飛んで移動するようになります。メスは全長8cmほどと、オスの倍大きく、日本最大級のバッタです。



野草園マップ



見られるポイントはココ！